Canon

クイックスタートガイド LV-7255/LV-7250

- このクイックスタートガイドでは、プロジェクター（本機）の基本的な操作方法をコンピューターとの接続を例にして説明しています。詳しい説明は、「使用説明書」をご参照ください。
- 本機を使用する前に、「使用説明書」の冒頭に記載している“安全上の注意事項”を必ずお読みください。

※LV-7255/LV-7250は、日本国内向けモデルです。
※本書のイラストはLV-7250のモデルを掲載しています。

ステップ1 設置する

お好みの画面サイズになるように、本機を置く位置を決めます。

LV-7255 使用説明書 22ページ、LV-7250 使用説明書 22ページ

ステップ2 接続する

1 コンピューター接続ケーブルを接続する。

2 電源コードを接続する。

ステップ3 電源を入れる

1 主電源スイッチを「I（入）」にする。

2 レンズからレンズキャップを取り出す。

3 (POWER) ボタンを約1秒押す。

参考 ご購入後はじめて電源を入れたときは「Menu Language Select（言語選択）」画面が表示されます。(∨/∧) ボタンで言語を選び、(OK) ボタンで決定してください。

ステップ4 信号を選ぶ

本機に接続しているコンピューターの電源を入れ、(INPUT) ボタンを2秒以上押す。

参考

●ノート型コンピューターの画面がうまく投写できない場合

ノート型コンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。

・Windowsの場合はファンクションキーを使います。
Fn キーを押したまま（–/▣）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

Fn ＋ F3	NEC、Panasonic、Gateway、SOTEC
Fn ＋ F4	HP
Fn ＋ F5	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
Fn ＋ F7	SONY、IBM、HITACHI
Fn ＋ F8	DELL、EPSON
Fn ＋ F10	FUJITSU

※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの使用説明書をご参照ください。

●画面の端が切れている場合

コンピューターの画面を投写したときに、画面の端が切れていたり、映りが悪いときは、(AUTO PC) ボタンを押して自動調整を行ってください。

【映りが悪い画面例】　【自動調整後の画面例】

ステップ5 投写画面の位置と大きさを調整する

調整脚、ズームレバー、フォーカスリングを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

投写角度（投写画面の高低）の調整【調整脚】

1 本機の前部を持ち上げる。

2 調整脚ロックボタンを押す。

⚠ 排気口の熱風にはご注意ください。

3 調整脚ロックボタンを押したまま、本機の投写角度を調整する。

4 角度を固定したいところで調整脚ロックボタンから指を離す。

台形歪み補正【オートキーストーン】

投写画面が台形に歪んでいないことを確認する。

本機は、本体の上下の傾きを感知し、画面の歪みを自動で補正します。

画面の左右（水平方向）が歪んでいるときは、レンズ面がスクリーンに平行になるように設置しなおします。

投写画面の左右の傾き調整【後部調整脚】

投写画面の左右が傾いている場合は、後部調整脚を回して微調整する。

投写画面の大きさの調整【ズームレバー】

ズームレバーを回して、投写画面の大きさを調整する。

投写画面のフォーカス調整【フォーカスリング】

フォーカスリングを回して、フォーカスを調整する。

ステップ6 電源を切る

1 (POWER) ボタンを押す。

電源切り確認メッセージが表示されます。

2 (OK) ボタンを押す。

ランプが消灯し、しばらく冷却ファンが回転します。冷却ファンの回転が終了すると、電源が切れPOWERランプがオレンジ色に変わります（スタンバイ状態）。

3 主電源スイッチを「○（切）」にする。

本機のPOWERランプが消え、主電源が切れます。

4 電源コードを外す。

YT1-5340-000

©CANON INC. 2006
PRINTED IN JAPAN
7N8P6521